【もりのレストラン】

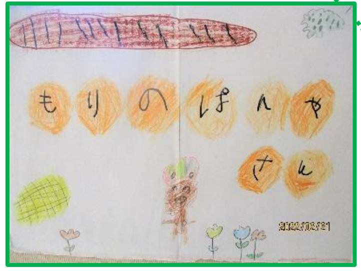
「レストランにはたくさんのメニューがあるね」「どんなメニューにしようか」とまずレストランのメニュー決めから始めました。

それぞれが自分の好きなメニューを出し、また「レストランに行ったらこんなメニューがあったよな」とメニュー決めから盛り上がっていました。みんなで話し合い、ハンバーグセット・お子様セット・カレーセット・うどんセット・スパゲティセット・ポテトセットに決まり、全てのメニューにジュースをつけてあげよう！ということになりました。

メニューが決まり、どのように作ってみたいか考えてきてね・・と子どもたちに伝えると、「お母さんと一緒に作ってきたよ」「自分で考えて作ってきたよ」とアイディアを持ち寄り作り始めました。ハンバーグは新聞紙を平たく丸め、そこに和紙を貼って、乾いたら色を塗って、と作っていきました。「新聞紙を上手く丸められない・・」というと「私これ得意だよ、手伝うよ」と声を掛け合ったり、フェルトを切るのに苦戦している子がいたら、「押さえてあげる」とお互い協力し助け合いながら完成させました。完成した物を見て「わぁ～美味しそう、本当に食べたくなるね」というくらいおいしそうにできました。また『本物のお店屋さんのように』とランチョンマットも作りました

お店屋さん当日はメニューを聞く人・料理を用意する人・お客さんに料理を渡す人と、自分たちで分担を考え行っていました。また自分で作ったコックさんの帽子、エプロンをつけ「いらっしゃいませ」と声を掛けたり、「忙しい」と言いながら料理を用意する姿、「どうぞ」といって料理を渡してあげる優しい姿がたくさん見られ、どの子もとてもいい表情で楽しんでいました。

【もりのぱんやさん】



パン屋さんでは、「どんなパンを作る？」ということから話し合いが始まりました。子どもたち同士の中でイメージを共有しながら話し合っていくと、メロンパン、カレーパン、フランスパン等たくさんのパンの種類の名前が出ました。その中からこどものもりのお客さんが喜んでくれるパンはどれかということで作るパンを決め、さっそくパン作りが始まりました。

新聞紙をパンの形にする→和紙を貼る→乾いたら絵の具で色を塗る

という作業に「たいへんだな～」と苦戦していましたが、周りを見て形作りが得意な子が手伝ってあげたり、アドバイスしてあげたりと協力して一緒に頑張る姿が見られ完成した時にはみんなで達成感を味わうことができました。

その後、お店で必要な物（トングや紙袋等）を話し合って作り、いよいよお店屋さんが始まりました。すぐ売り切れてしまうほど大盛り上がりで「いそがしい～」と言いながらも、ちゅうりっぷ組さん、こすもす組さんも含め、たくさんのお客さんが来てくれて大喜びですっかりパン屋さんになりきっていた子どもたちでした。

【もりのようふくやさん】

秋のファッションを行ったことで「可愛い洋服をもっと作ってみたい」や「小さい子の喜ぶ服を作りたい」とスタートしました。

いざ作り始めると、どんな洋服にしたらいい？とイメージが膨らます・・・。ご家庭に協力したいただき、参考資料をもってきて頂いたり、「こんな洋服を作りたい」の気持ちを絵で描いてみたりすることで洋服づくりが実現していきました。

友だちと意見を出し合いながら作ったり、ひとり黙々と作り、完成後、友だちに見せ、アドバイスをもらったりしながら作っていきました。洋服を作っていく中で、「わたしが行った洋服屋さん、かばんがあったから、作りたい！」とその一言でみんなで作ることが決まりました。

お互いに洋服を褒めあったり、「それいいね！」と認めたり、「誰か教えて」と声を出し、その声に「教えてあげる！一緒に作ろう」と助け合う姿が見られました。そして最終的には『かばん１２個、スカート２０着、洋服５０着以上』が完成しました。

お店屋さん当日は「なんだか緊張する」とドキドキしていましたが、受付、案内する人、試着室を見る人と仕事を分担して行うことができました。お店屋さんを通し、「みんなが喜んでくれて嬉しかった」「自分が作った洋服を小さい子が着てくれて嬉しかった」「みんなで同じ人に案内しちゃって難しかった」などたくさんのことを感じることができました。

【よつばともりのけーきやさん】

「ショートケーキが作りたい」「モンブラン美味しいからどう？」という声から話し合いが始まったケーキ屋さん。

お家の人と考えてきたアイディアや資料を参考にイメージを共有しながらどんなケーキを作ろうか話し合っていきました。

最初は自分でカップをデザインして作るカップケーキ作りから始めていきました。ペンで絵を描く子やマスキングテープで表現する子等様々な姿が見られお互いに「それいいね！」「真似してもいい？」と切磋琢磨してケーキ作りを楽しんでいき、全部のケーキが完成した時にはみんなで達成感を味わうことができました。

その後、お店で必要な物（お皿やトング等）を分担して用意し、いよいよお店屋さんが始まりました。

プレオープンを通して良かった点や改善点を自分たちで見つけることができ、反省を生かし、本番では買いやすいようにとニコニコ笑顔で声を掛けあいそして助け合いながら楽しむことができ、満足感で、笑顔いっぱいの子どもたちでした。